

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の学習成果と学位論文等審査基準の対応マップ

		卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の学習成果		
		1	2	3
学位論文審査基準	1	◎	◎	○
	2	○	◎	◎
	3	◎	◎	○
	4	○	○	◎
	5	◎	○	◎
	6			

人文科学研究科教育学専攻博士後期課程の学位論文を評価するためのルーブリック

	尺度5 (S) (特に優秀な成績)	尺度4 (A) (優秀な成績)	尺度3 (B) (要求を満たす成績)	尺度2 (C) (合格と認められる最低の成績)	尺度1 (D) (不合格)
研究課題の明確性及び先行研究を踏まえての的確性	非常に広い視野に立って現代の教育課題と向き合い、先行研究の十二分な検討を踏まえつつ、きわめて明確に研究課題が設定されている	広い視野に立って現代の教育課題と向き合い、先行研究の十二分な検討を踏まえつつ、明確に研究課題が設定されている	現代の教育課題と向き合い、先行研究の十分な検討を踏まえつつ、明確に研究課題が設定されている	現代の教育課題と向き合い、先行研究の検討を踏まえつつ、研究課題が設定されている	現代の教育課題と向き合い、先行研究の検討を踏まえつつ、研究課題を設定する点が不足している
課題を追求する方法論の適切性	研究対象の特性に即した研究及び調査の方法を十分適切に採ったものである	研究対象の特性に即した研究及び調査の方法を適切に採ったものである	研究対象の特性に即した研究及び調査の方法を採ったものである	研究及び調査の方法が考えられて採られている	研究及び調査の方法を考える点が不足している
研究方法及び調査方法の妥当性	人間の営みを研究対象とすることを踏まえ、しかるべき倫理的丁寧かつ十二分に配慮が行われている	人間の営みを研究対象とすることを踏まえ、しかるべき倫理的配慮が十分に行われている	人間の営みを研究対象とすることを踏まえ、一定の倫理的配慮が行われている	倫理的配慮が一応行われている	倫理的配慮に不足がみられる
結論の妥当性	文献及び資料・データの分析・考察を踏まえ、研究の経過と成果を非常に明瞭かつ的確に表現できている	文献及び資料・データの分析・考察を踏まえ、研究の経過と成果を明瞭かつ的確に表現できている	文献及び資料・データの分析・考察を踏まえ、研究の経過と成果を表現できている	研究の経過と成果の表現がまとめられている	研究の経過と成果の表現が不足している
研究の独創性と研究分野への貢献	教育学研究の推進及び教育実践の改善に向け、従来の研究的成果の再構築をもたらす極めて高い独創性を有する	教育学研究の推進及び教育実践の改善に向け、従来の研究的成果の再構築をもたらす高い独創性を有する	教育学研究の推進及び教育実践の改善に向け、従来の研究的成果の再構築をもたらす独創性を有する	教育学研究の推進及び教育実践の改善に向け、独創性を有する	教育学研究の推進及び教育実践の改善に向けた、独創性が不足している
その他	教育の研究と実践の分野において自ら創造的な活動をしていく極めて高い意欲が読み取れるものである	教育の研究と実践の分野において自ら創造的な活動をしていく高い意欲が読み取れるものである	教育の研究と実践の分野において創造的な活動をしていく意欲が読み取れる	教育の研究と実践の分野において活動をしていく意欲が読み取れる	教育の研究と実践の分野において活動をしていく意欲が不足している